

人類働態学会 20期 第8回理事会

日時：2010年3月5日（金） 18:30～20:00

場所：大妻女子大学「生活科学資料館」

出席：植竹照雄 榎原毅 片岡洵子 小木和孝 酒井一博 竹内由利子 城憲秀 中田英雄
橋本修左 堀野定雄 平野和彦 真家和生 松田文子 松村秋芳 水野有希

配布資料： 資料1 20期第8回理事会次第 資料4 40回大会・シンポジウム準備状況報告
資料2 各委員会の報告 資料5 40回大会・シンポジウム案内
資料3 第7回理事会議事録 資料6 次世代WG答申案を受けて

会員動向

<退会>

谷井克則

●議事

1. 40周年大会

- ・1日目（6月12日）、午前はポスタープレゼンテーションとして10演題程度を予定し、午後から国際シンポジウムを開催する。ポスターと発表は英語とし、ポスタープレゼンテーションの中で優秀発表賞を懇親会で発表する。
- ・2日目（6月13日）、一般演題（日本語）のみとし、昼に総会を開催する。最後に優秀発表賞を発表する。
- ・会報とは別に、シンポジウムの抄録集を作成し、そこに広告を掲載する予定。また、学会後に、国際シンポジウムの内容をFull paperにすることを検討。
- ・国際シンポジウムの討論は原則英語にする。フロアから日本語の質問があれば、翻訳することも考えており、各発表者のスライドには日本語訳をつける予定。

2. 21期の選挙について

- ・4月から選挙管理体制を作り、4月上旬から用紙を配布・開票し、5月下旬までに理事を確定する。
- ・選挙管理委員に、山田泰行氏（順天堂大学）、瀬尾尚聡氏（日立ブレーン）、立川公子氏（武蔵野大学）の3名を選出した。

3. JHEの学術刊行物指定について

- ・JHEは学術刊行物として認定されており、郵便料金は特別料金が適用されていた。
- ・発行人所在地変更手続きをして、筑波大学から労働科学研究所に変更し、次回から特定郵便として、印刷所から直接発送する。

4. 働態研究の方法

- ・3社（徳島印刷センター、ニチゲン、三栄社）から見積もりをお願いし、送料を含めると70万円程度になる。印刷所の決定は、財務、事務局、会長、執行部で行う。
- ・会員に配布後の在庫に関して、次世代のテキストで使用したり、新入会員に配ったりするほかに、理

事会は大学の図書館や研究室で購入するように働きかける。

5. 菊池安行氏の経歴

- ・会長は1996年6月～、2期に渡り勤めた。

6. 2011年大会

- ・広島文教大学の宇土氏に、打診する予定。担当は、酒井理事。

7. WGの答申書を受けて

- ・答申書は学会のHPにアップし、全会員に情報を流す。答申書が整い次第、アップする。
- ・答申案を3つに類型し、それぞれでタスクフォースを理事会内に設置する。各グループにはWGのメンバーと理事が入るようにし、答申をどう具体化するか各タスクフォースが検討する。
- ・40回大会に、このテーマで演題を組むことを検討する。

●報告

JHE

- ・Vol. 38のNo. 2は2010年の3月中に刊行される予定。

会報

- ・入稿締め切りは5月20日ぐらいを予定

広報

- ・HPは200Mに容量を増やし、支払いが500円アップした。40周年大会アドレスは、本部管轄にした。

国際交流

- ・北京で行われたIEAの議事録が届いたので、理事に内容を送る予定。

次回の理事会は、2010年5月7日 18:30～

次回の審議事項は、総会資料の原案を決め、間に合えば選挙結果を報告する。

以上